

青森県経済統計報告

平成15年8月4日
企画振興部統計情報課

1 青森県の推計人口（平成15年7月1日現在） 1

県人口	1,460,426人	(対前月 131人減少、対前年同月 7,164人減少)
自然動態	53人減少	(出生者数 992人、死亡者数 1,045人)
社会動態	78人減少	(転入者数 1,559人、転出者数 1,637人)

2 本県の経済動向

(1) 経済概況

本県経済の動向をみると、厳しい雇用情勢が続く中で、鉱工業生産指数、個人消費や住宅建設等各指標においていずれも前年同月を下回るなど、低調な動きとなっており、依然として厳しい状況が続いている。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産 平成15年5月の青森県鉱工業生産指数（平成12年=100）は、季節調整済指数が85.8で、前月比1.4%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は87.4で、前年同月比3.3%の低下となり、3ヶ月ぶりに前年同月を下回った。 ... 2
- (2-2) 雇用情勢 平成15年5月の現金給与総額は235,869円で前年同月比0.7%減となった。このうち、定期給与は231,991円で0.2%増となっている。総実労働時間では、154.8時間で前年同月比0.8%減となり、所定外労働時間も7.5時間で1.4%減となっている。6月の有効求人倍率は0.29倍で、先月を0.02ポイント下回った。 ... 3
- (2-3) 物価 平成15年6月の青森県消費者物価指数は、総合指数で99.7となり、前月比0.2%下落となり、4ヶ月ぶりに前月を下回った。 ... 4
- (2-4) 個人消費 平成15年5月の大型小売店売上高は、全店舗ベースで前年同月比2.5%増の151億2百万円となったが、既存店ベースでは前年同月比4.5%減となった。平成15年5月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,628台で、前年同月比4.3%の減となり、2ヶ月連続前年を下回った。 ... 5
- (2-5) 住宅建設 平成15年5月の新設住宅着工戸数は1,058戸で、持家及び貸家などの減少により前年同月比6.9%減となり、4ヶ月連続前年を下回った。 ... 6

(3) 景気動向指数（平成15年5月分） 7

先行指数	22.2%	(4か月連続で50%を下回った)
一致指数	44.4%	(3か月連続で50%を下回った)
遅行指数	71.4%	(2か月ぶりに50%を上回った)

(4) 青森県景気ウォッチャー調査（平成15年7月期） 8

3ヶ月前と比べた景気の現状判断DI	36.6	(前期比2.3ポイント増、9期連続50を下回る)
3ヵ月後の景気の先行き判断DI	43.8	(前期比6.2ポイント増、9期連続50を下回る)

1 青森県の推計人口（平成15年7月1日現在）

【概況】

平成15年7月1日現在の本県推計人口は、1,460,426人で、前月に比べ131人の減少となった。前年同月と比べると、7,164人の減少となった。

○自然動態

出生者数が992人、死亡者数が1,045人で、53人の減少となった。

6月中の統計としては、自然増減数が過去（昭和41年以降。）最少となり、死亡者が過去（昭和41年以降。）最多となった。

○社会動態

県外からの転入者数が1,559人、県外への転出者数が1,637人で、78人の減少となった。

総人口の推移

（単位：人）

	総数			対前月増減率	増減数	自然増減数	出生者数		死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
	男	女	出生者数				死亡者数					
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-	-
14.7.1	1,467,590	697,865	769,725	-0.020%	-293	-44	967	1,011	-249	1,406	1,655	
14.8.1	1,467,516	697,783	769,733	-0.005%	-74	47	1,140	1,093	-121	2,232	2,353	
14.9.1	1,468,116	698,190	769,926	0.041%	600	24	1,082	1,058	576	2,645	2,069	
14.10.1	1,467,925	698,044	769,881	-0.013%	-191	-14	1,046	1,060	-177	1,758	1,935	
14.11.1	1,467,951	698,001	769,950	0.002%	26	37	1,160	1,123	-11	1,978	1,989	
14.12.1	1,467,553	697,778	769,775	-0.027%	-398	-248	946	1,194	-150	1,345	1,495	
15.1.1	1,467,047	697,500	769,547	-0.034%	-506	-264	898	1,162	-242	1,370	1,612	
15.2.1	1,466,409	697,059	769,350	-0.043%	-638	-435	1,048	1,483	-203	1,460	1,663	
15.3.1	1,465,541	696,605	768,936	-0.059%	-868	-366	904	1,270	-502	1,374	1,876	
15.4.1	1,459,568	693,152	766,416	-0.408%	-5,973	-353	909	1,262	-5,620	4,746	10,366	
15.5.1	1,460,756	693,883	766,873	0.081%	1,188	-173	992	1,165	1,361	5,161	3,800	
15.6.1	1,460,557	693,699	766,858	-0.014%	-199	-165	999	1,164	-34	1,815	1,849	
15.7.1	1,460,426	693,599	766,827	-0.009%	-131	-53	992	1,045	-78	1,559	1,637	

6月中の人口動態の推移

（単位：人）

年月	平6.6	7.6	8.6	9.6	10.6	11.6	12.6	13.6	14.6	15.6	
自然動態	出生者数	1,295	1,298	1,154	1,169	1,220	1,160	1,142	1,005	967	992
	死亡者数	907	938	933	970	1,041	1,034	971	1,008	1,011	1,045
	自然増減数	388	360	221	199	179	126	171	-3	-44	-53
社会動態	県外からの転入者数	1,703	1,823	1,587	1,648	1,604	1,554	1,567	1,451	1,406	1,559
	県外への転出者数	1,710	1,648	1,559	1,568	1,566	1,533	1,653	1,658	1,655	1,637
	社会増減数	-7	175	28	80	38	21	-86	-207	-249	-78

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成14年7月1日から平成15年7月1日までの人口は平成12年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増減数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 算出方法 県の人口＝自然増減数（出生－死亡）＋社会増減数（県外転入－県外転出）

※5 これまで社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数を含めていたが、県間移動数に修正を行った為、過去の公表数値と異なっている。

※5 県の人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総数とは一致しない。

2 本県の経済動向

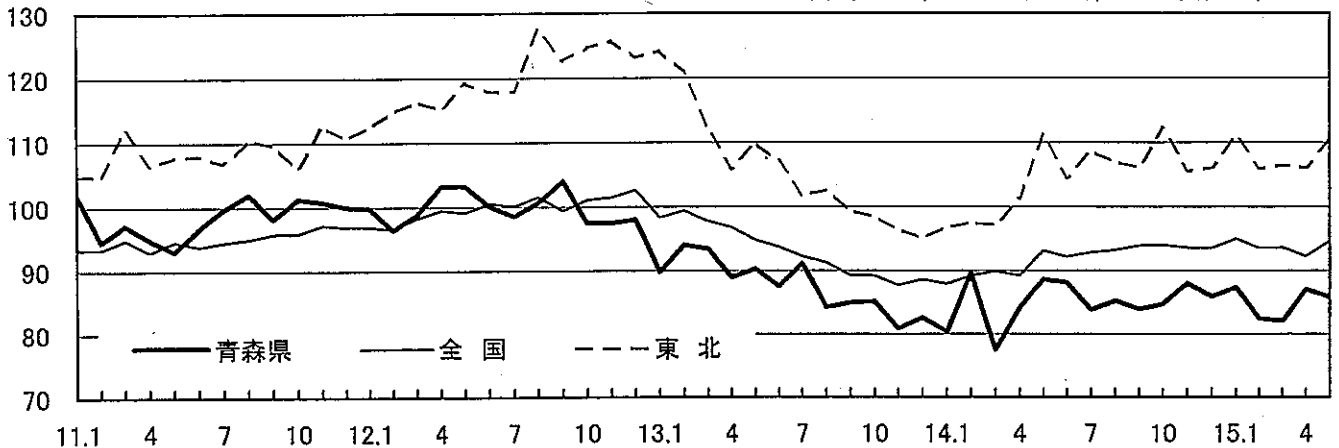
(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

平成15年5月の青森県鉱工業生産指数（平成12年=100）は、季節調整済指数が85.8で、前月比1.4%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は87.4で、前年同月比3.3%の低下となり、3ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、精密機械工業、窯業・土石製品工業、電気機械工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、一般機械工業、金属製品工業などが低下し、鉱工業全体では1.4%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）（平成12年=100）※東北は平成7年=100

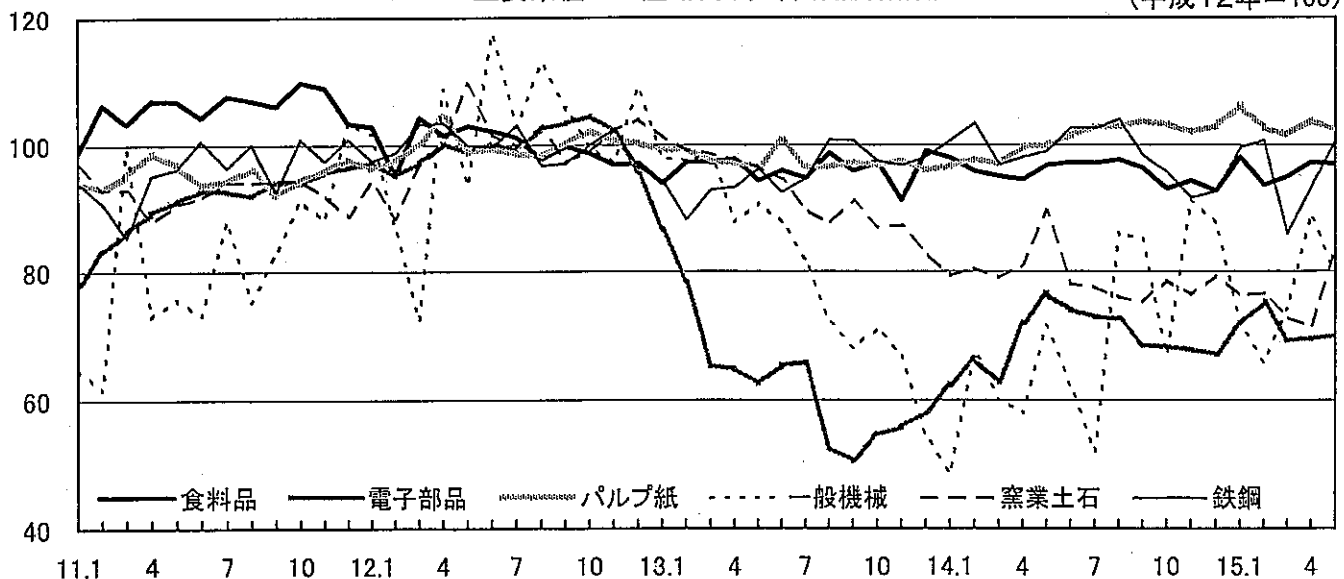


◎業種別動向(前月比)

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
(鉱工業)				-1.4	-100.0
精密機械工業	34.1	102.6	化学工業	-53.6	-309.8
窯業・土石製品工業	17.1	77.8	一般機械工業	-10.9	-64.2
電気機械工業	13.7	67.0	金属製品工業	-7.4	-22.9
鉄鋼業	8.0	43.6	輸送機械工業	-16.0	-20.5
プラスチック製品工業	11.8	23.8	家具工業	-38.9	-18.5

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成12年=100)

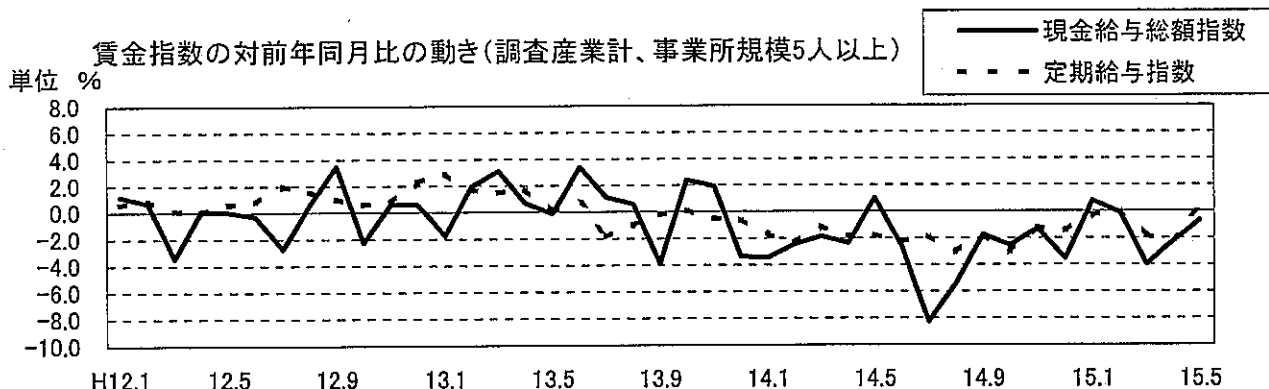


資料: 県統計情報課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成15年5月の現金給与総額は235,869円で現金給与総額指数（平成12年=100）では82.2となり、前年同月比0.7%減となった。このうち、定期給与は231,991円で定期給与指数では98.2となり、前年同月比0.2%増となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.5となった。

所定外労働時間は7.5時間で、所定外労働時間指数では87.2となり、前年同月比1.4%減となった。6月の有効求人倍率は、0.29倍で、先月を0.02ポイント下回った。

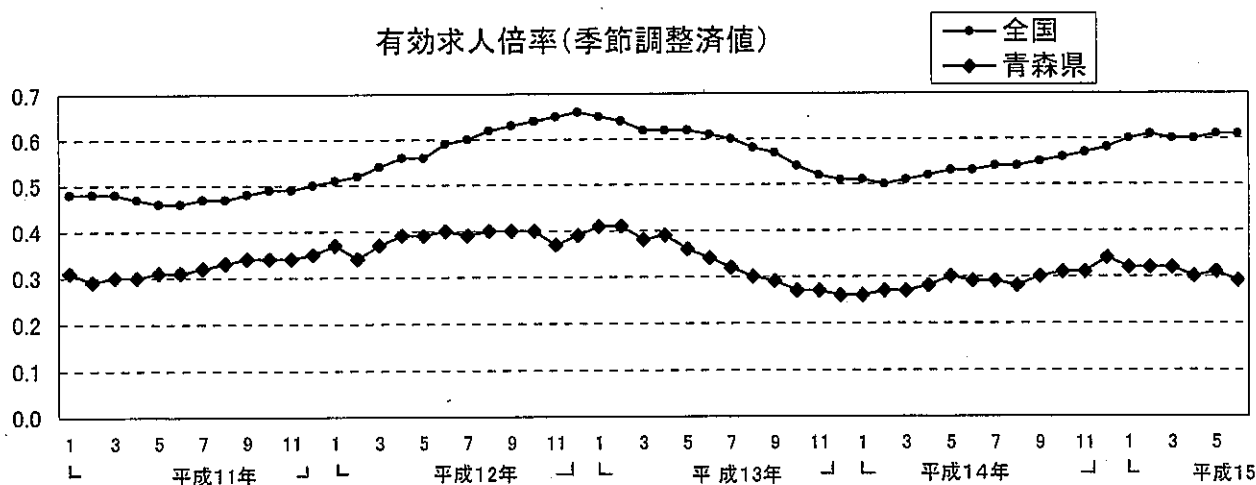


賃金及び労働時間の動き（調査産業計、事業所規模5人以上）

	実 数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全 国	県	全 国	県	全 国
現金給与総額	235,869 円	282,440 円	82.2	79.4	-0.7 %	0.6 %
定期給与	231,991 円	277,767 円	98.2	97.8	0.2 %	0.6 %
特別給与	3,878 円	4,673 円	—	—	—	—
総実労働時間	154.8 時間	151.5 時間	97.6	98.0	-0.8 %	1.9 %
所定内労働時間	147.3 時間	141.9 時間	98.1	98.1	-0.8 %	1.7 %
所定外労働時間	7.5 時間	9.6 時間	87.2	97.0	-1.4 %	5.5 %

(注) 1. 定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。2. 前年同月比は指数によって算出している。

資料：県統計情報課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



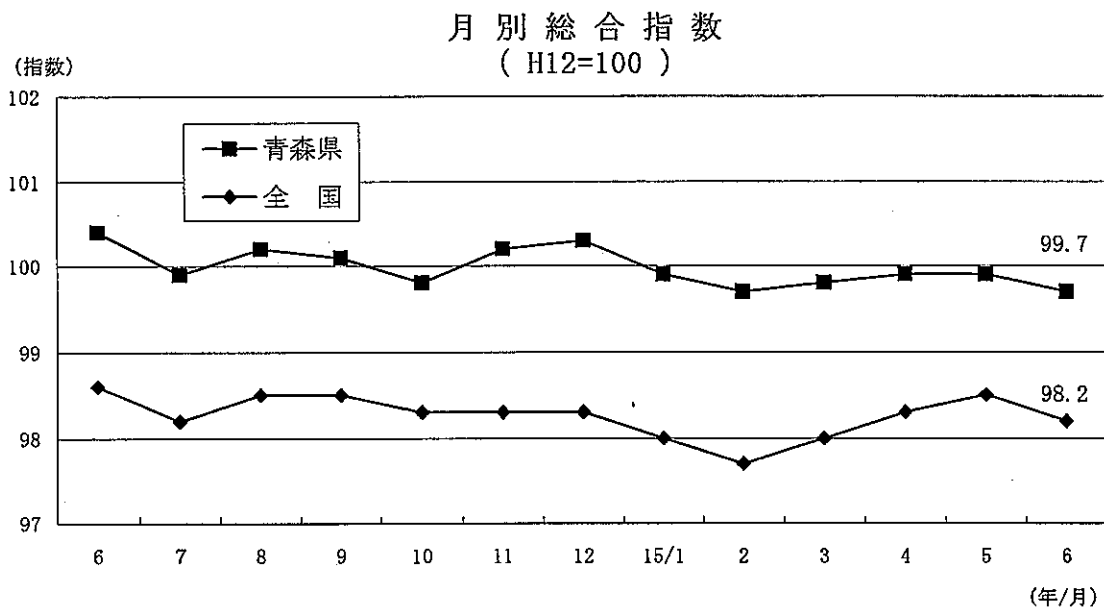
資料：青森労働局職業安定部職業安定課

(2-3) 物価

平成15年6月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で99.7となり前月比△0.2%、前年同月比△0.7%といずれも下落となった。

前月指数と比較すると、「被服及び履き物」は婦人服地や下着類等、「保険医療」は保険医療用品・器具（紙おむつ等）の値上がり等によって上昇した。

「家具・家事用品」はカーペットや寝具類等、「食料」は生鮮野菜（キャベツ、だいこん等）、「光熱・水道」は灯油、「教養娯楽」は切り花（カーネーション等）や教養娯楽用耐久財（ビデオカメラ、ノート型パソコン等）の値下り等により下落した。



10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

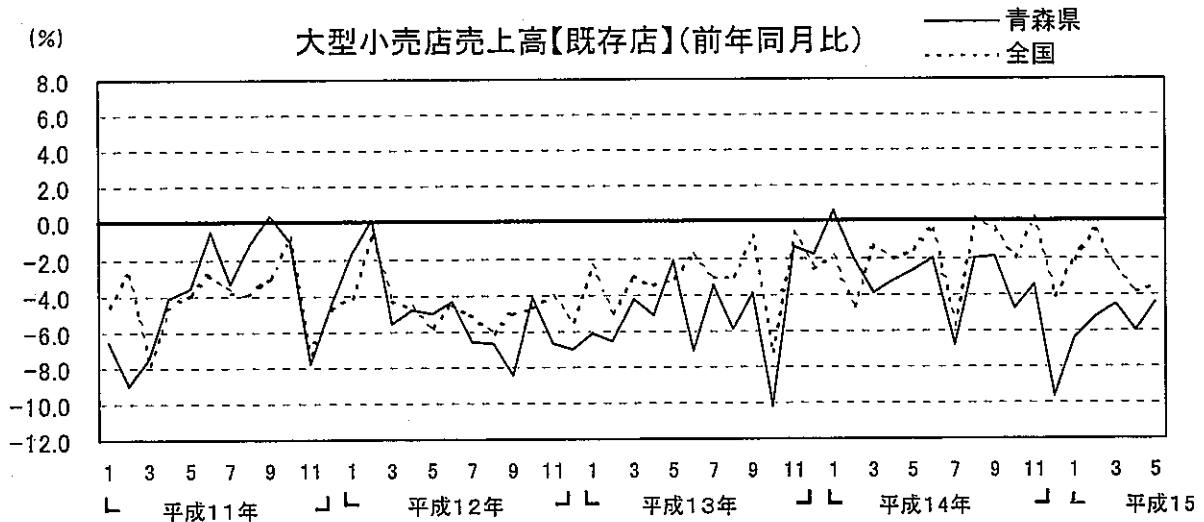
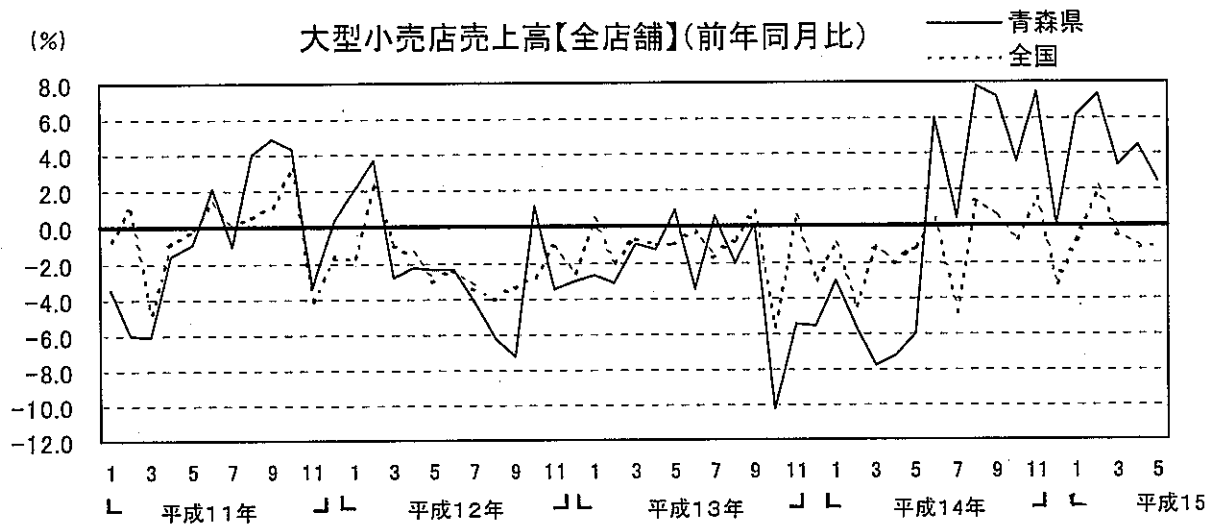
	総合	総合 (持ち家の 家賃を除く)	総合 (生鮮 食品を除く)	食料	生鮮食品	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事 用品	被服及 び履 き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養娯 楽	諸雑費
当月指数	99.7	98.8	99.7	101.0	103.6	105.2	100.0	92.3	94.7	108.5	97.2	100.3	91.0	99.1
前月比	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.5	0.4	0.2	▲ 0.3	0.0	▲ 0.4	▲ 0.1
前年同月比	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.9	0.2	2.1	▲ 0.8	0.1	▲ 4.5	▲ 4.2	5.1	▲ 0.6	▲ 4.5	▲ 1.9	▲ 0.4

資料：県統計情報課「青森県消費者物価指数月報」(速報)

(2-4) 個人消費

平成15年5月の大型小売店売上高は、全店舗ベースではスーパーの飲食料品の伸びが寄与して、前年同月比2.5%増の151億2百万円となったが、既存店ベースでは前年同月比4.5%減となった。

平成15年5月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,628台で、普通乗用車は増加したが、小型乗用車、軽乗用車がいずれも減少したことから、全体としては前年同月比4.3%減となり、2ヶ月連続前年を下回った。

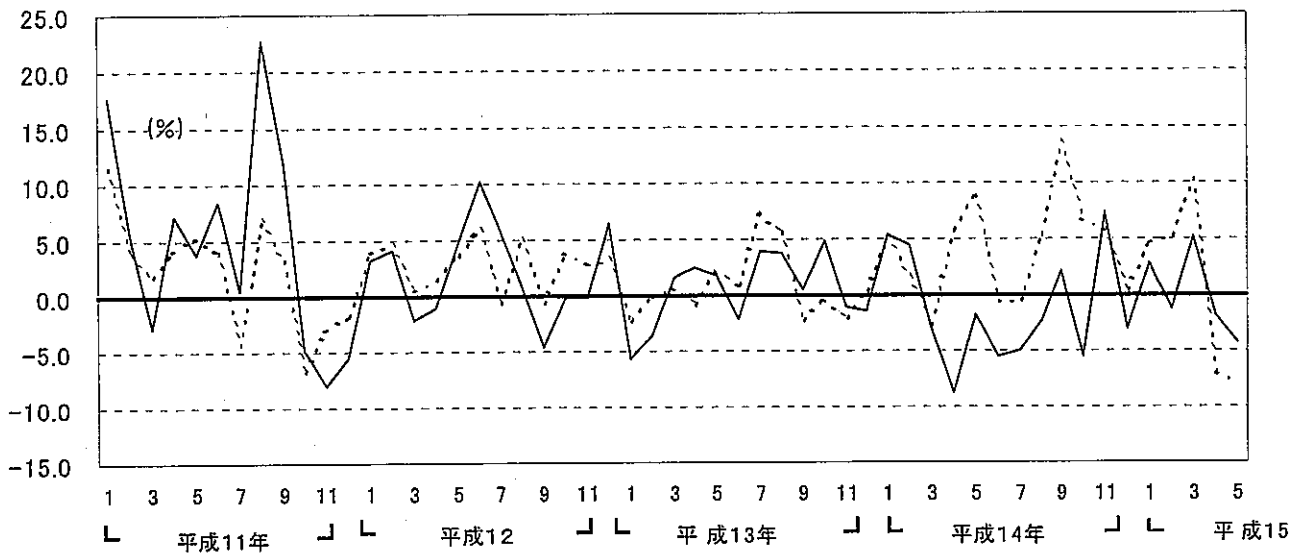


資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

※ 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

乗用車(軽を含む)新車登録・届出台数(対前年同月比)

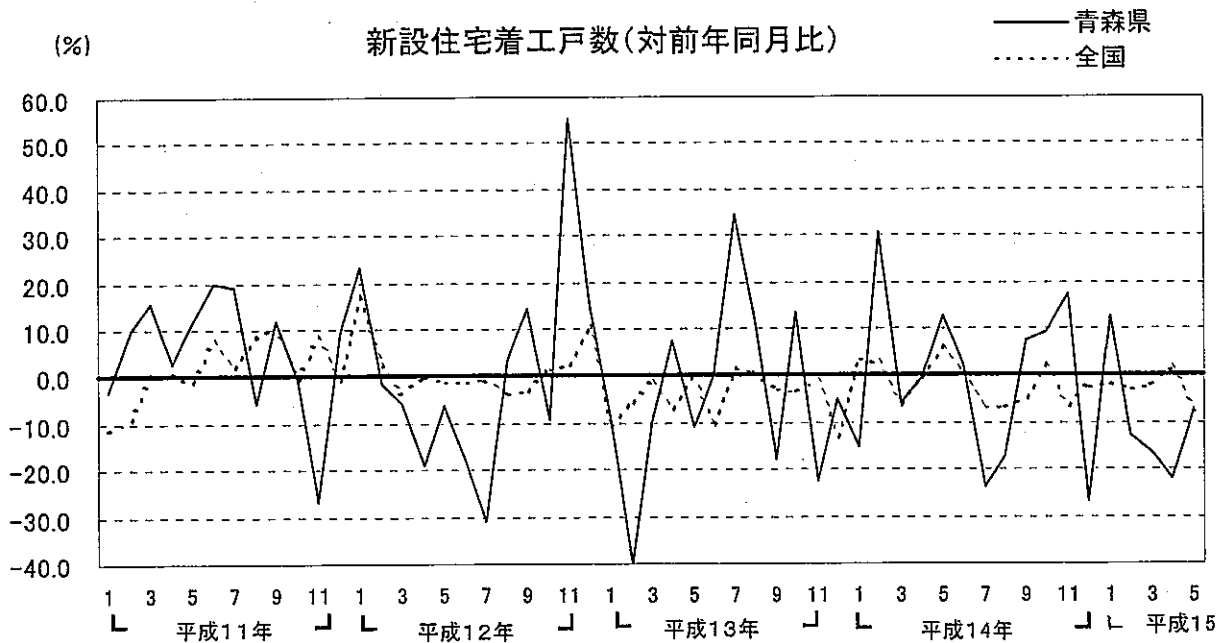
—— 青森県
 全国



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、
 日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

平成15年5月の県内新設住宅着工戸数は1,058戸で、持家及び貸家などの減少により前年同月比6.9%減となり、4ヶ月連続前年を下回った。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(3) 青森県景気動向指数

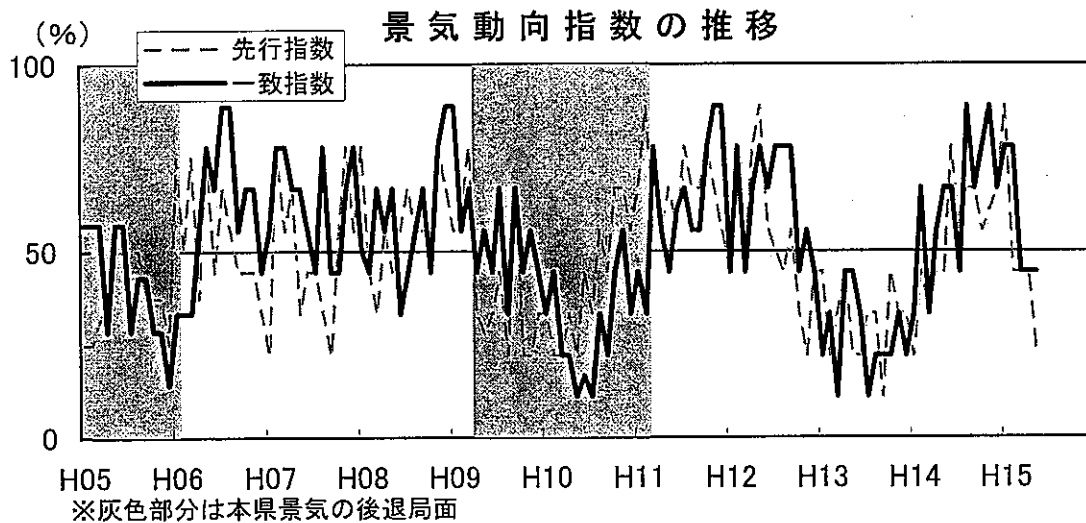
平成15年5月の青森県景気動向指数は、先行指数22.2%、一致指数44.4%、遅行指数71.4%となった。

先行指数は、4か月連続で50%を下回った。

一致指数は、3か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、2か月ぶりに50%を上回った。

5月の一致指数は、流通関連の指標等がマイナスとなったことから、50%を下回った。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中7指標がマイナス）			
新規求人数（常用）	2か月連続	企業倒産負債額	3か月連続
新設住宅着工戸数	4か月ぶり	生産財生産指数	2か月連続
		乗用車新車登録届出台数	2か月連続
		所定外労働時間指数（全産業）	2か月連続
		中小企業景況DI	2か月ぶり
		建築着工床面積（鉱+商+サ）	2か月ぶり
		入職率（製造業）	3か月ぶり
一致系列（9指標中5指標がマイナス）			
大口電力使用量	14か月連続	鉱工業生産指数	4か月連続
日銀券月中発行高	2か月連続	海上出入貨物量（八戸港）	3か月連続
電気機械生産指数	2か月ぶり	雇用保険基本手当初回受給者数	2か月連続
大型小売店販売額（実質）	3か月ぶり	有効求人数（常用）	2か月ぶり
		東北自動車道IC利用台数	11か月ぶり
遅行系列（7指標中5指標がプラス）			
常用雇用指数（製造業）	12か月連続	1人平均月間現金給与総額	5か月連続
信用保証申込金額	11か月連続	消費者物価指数（帰属家賃除く総合）	2か月連続
単位労働コスト（製造業）	4か月連続		
勤労者世帯家計消費支出（実質）	4か月ぶり		
輸入通関実績（八戸港）	5か月ぶり		

資料：県統計情報課「青森県景気動向指数月報」

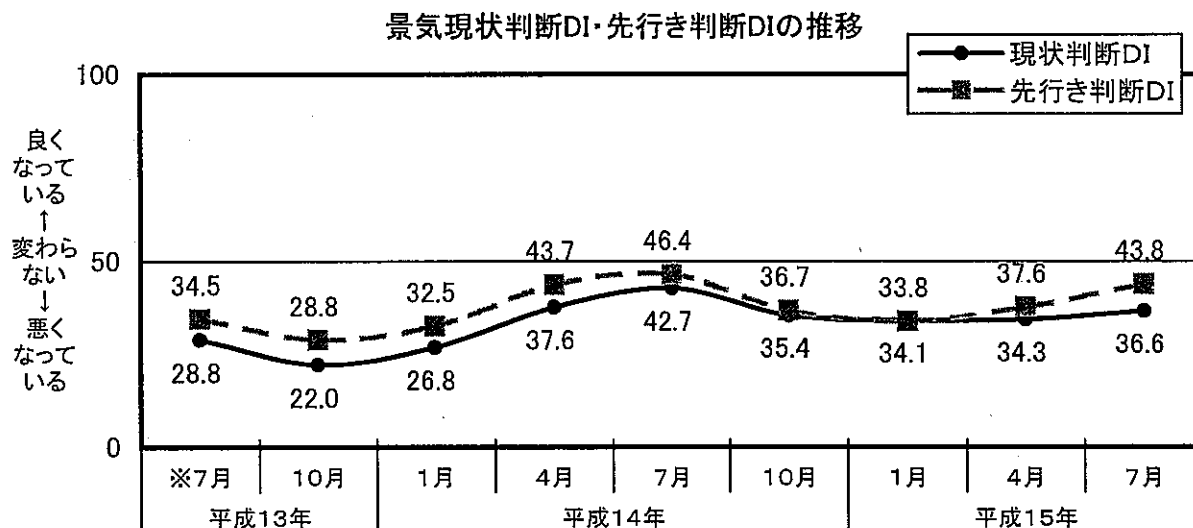
(4) 青森県景気ウォッチャー調査

平成15年7月期の景気ウォッチャー調査は、7月1日～7月25日を調査期間とし、回答率98%となった。

3か月前と比べた景気の現状判断DIは36.6で、前期調査より2.3ポイント増加した。

3か月後の景気の先行き判断DIは43.8で、前期調査より6.2ポイント増加した。

7月期は、現状判断DI、先行き判断DIとも2期連続してポイントが増加したものの、横ばいを示す50を依然として下回っている。



※平成13年7月は試行調査

● 3か月前と比べた景気の現状判断

動	<p>前期調査と比べると、「悪くなっている」、「やや悪くなっている」が減少したことにより、2.3ポイント増の36.6となったものの、引き続き横ばいを示す50を下回った。判断理由をみると、株価の持ち直しやイラク戦争の終結に伴う景気好転という声があるものの、依然として来客数・客単価とも減少傾向にあること、また、ボーナス手取額減少や低温等による消費の低迷が挙げられていた。</p>
向	<p>前期調査に比べて、全ての地区で「悪くなっている」、「やや悪くなっている」が減少したが、東青及び津軽地区では「やや良くなっている」も減少した。</p>

● 3か月後の景気の先行き判断

動	<p>前期調査と比べると、「やや良くなっている」と答えた人が増加し、「悪くなっている」、「やや悪くなっている」が減少したことにより、6.2ポイント増の43.8となったものの、引き続き横ばいを示す50を下回った。判断理由を見ると、夏祭り、秋の観光シーズンを迎えての観光客の増加等が見込まれるものの、不順天候等による消費減退等が不安材料として挙げられていた。</p>
向	<p>前期調査に比べて、東青地区で「悪くなっている」、「やや悪くなっている」が減少し10.1ポイント増となった外、津軽、県南及び下北地区でも「悪くなっている」が減少したことからポイントが増加している。</p>

資料：県統計情報課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

● 3か月前と比べた景気の現状判断理由

- 株価が持ち直したこと、中東(湾岸戦争)の平和が、まがりなりにも保たれた事が良い材料に働くと思う。(スーパー=県南)
- 天候不順で売上の低迷が続いており、景気だけが要因だとは考えられません。ただ、公務員のボーナス減給等で購買意欲は薄れているのでは?(一般小売店=下北)
- 雇用、賃金、生産など殆ど変わらない状況だから。ただ、リストラ、解雇など減少してきている。(経営コンサルタント=県南)
- 派遣社員数は、3月末に比べ十数名減少している。一方、向こう3カ月に派遣予定が十数名見込まれており、総体としては横ばい状況にあるといえる。(人材派遣=東青)
- △ 今年は昨年以上に寒く、当店の売上げも、また昨対を割っております。「今日はあついね」という声は聞こえません。冷夏になりそう?という心配も重なってかサイフのひもは一段と引き締まっています。(コンビニ=東青)
- △ 大型倒産、リストラによる失業等、暗いニュースが多い。また、天候状態(ヤマセ)も悪く、温度が上がらず、これから夏場を迎えるが、明るさが感じられない。(卸売業=県南)
- × 中心商店街空洞化が、いろいろな面に悪影響を及ぼし、消費の低迷に拍車をかけている。(旅行代理店=東青)
- × 物価が下落しているにもかかわらず、買上(販売)点数が増えない。(スーパー=東青)

● 3ヵ月後の景気の先行き判断理由

- そろそろ経済政策の効果と、各企業の構造改革の効果が表れると思う。可処分所得が増えるとは思わないが、マインドは好転すると思う。(百貨店=東青)
- ねぶた祭、盆(帰省)、紅葉など観光入込増となる要素が多い。(観光名所=津軽)
- 当店は6月下旬に、商店街の中で少し立地の良い場所へ移転し、敷地面積も広くなり、以前の環境よりはよくなっているのですが、やや悪くなっている現在の景気と掛け合わせて「変わらない」ところまでいけると思っています。(一般小売店=津軽)
- 業種によって多少ばらつきがあると思うが、給与所得者の収入減、および雇用状況の厳しさが改善されていない。(パチンコ=県南)
- 株価の上昇、長期金利の引き上げ等の動きが出て、この先に期待したいが、地方では、すぐ恩恵がなさそう。むしろ小売業の地方出店先の売上減少は深刻。まだ淘汰は続きそう。(新聞社求人広告=県南)
- △ 公務員のボーナス支給後も、以前のように、ボーナス需要がない。ますます必要以外はお金を使わない傾向が強くなっている。(家電量販店=津軽)
- △ 一般企業のボーナスカット及び減給が7月、8月は響くと思います。これに天候不順が重なっており、衣料品、食料品だけではなく、他業種にも影響は出ると思います。景気の悪い時こそ、四季はきっちり移り変わってほしいものです。(一般小売店=下北)
- △ 県の財政厳しく、財政再建の必要性から公共工事削減が予想され、国の発注減と相まって、受注難の状況がさらに強くなるものと考えます。(建設=県南)
- × お客様の出足が悪い。お天気が悪くて、特に農家の方々に影響があると思う。(スナック=津軽)

記号の意味:◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、△やや悪くなっている、×悪くなっている
資料:県統計情報課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」